

歯科材料 5 歯科用接着充填材料

管理医療機器 歯科接着用レジンセメント(70836002)

(歯科用象牙質接着材(42483002) 歯科セラミックス用接着材料(70815000) 歯科金属用接着材料(70921000)

歯科用エッチング材(36153000) 歯科用充填・修復材補助器具(38782000))

リライエックス™ アルティメット レジン セメント

再使用禁止

【禁忌・禁止】

1. 主材、スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ及びアクリレート類に対して、発疹、皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。
2. 過硫酸塩に過敏な患者には使用しないこと。また、同様に過硫酸塩に過敏な術者は使用しないこと。(アレルギー性の呼吸器症状を起こす可能性がある。)
3. リライエックス™ アルティメット レジン セメント ミキシングチップ セメント用、リライエックス™ アルティメット レジン セメント ミキシングチップ セメント用ワイド、口腔内注入チップセメント用、エンド用チップセメント用、ディスプレイミックス、ディスプレイミックス アプリケーターブラシ、エッチャント ディスペンシング チップは再使用しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

- 1) 主材(リライエックス™ アルティメット レジン セメント)
主材は、オートミックス シリンジ中に 2 種類のペーストが混合しない状態で封入されている。シェードは、トランスルーセント、B0.5 ブリーチ、A1、A3 オペークの 4 色がある。オートミックス シリンジから 2 種類のペーストをリライエックス™ アルティメット レジン セメント ミキシングチップ セメント用(以後、ミキシングチップ セメント用と記載)にて練和して使用する。なおその他の構成品として、主材先端に取り付ける付属品、スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ及びそれに使用する付属品、スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ及びそれに取り付ける付属品がある。

名称	成分
リライエックス™ アルティメット レジン セメント	ガラス粉末、メタクリレート、シリカ、重合開始剤、その他
リライエックス™ アルティメット レジン セメント	ガラス粉末、メタクリレート、シリカ、重合開始剤、その他
リライエックス™ アルティメット レジン セメント	ガラス粉末、メタクリレート、シリカ、重合開始剤、その他

2) その他の構成品

名称	成分
スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ	リン酸エステル系モノマー、メタクリレート、重合開始剤、エタノール、その他
スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ	リン酸、水、その他
リライエックス™ アルティメット レジン セメント ミキシングチップ セメント用	プラスチック
リライエックス™ アルティメット レジン セメント ミキシングチップ セメント用ワイド	プラスチック
口腔内注入チップ セメント用	プラスチック
エンド用チップ セメント用	プラスチック

ディスプレイミックス アプリケーターブラシ M サイズ	プラスチック
ディスプレイミックス混和皿	プラスチック
エッチャント ディスペンシング チップ	プラスチック、ステンレスチール

2. 原理

- 1) 主材:オートミックス シリンジ入りのデュアルキュア型接着性レジンセメントである。光重合開始剤と化学重合開始剤によって、メタクリレートによるラジカル重合が起こり、硬化する(リライエックス™ アルティメット レジン セメント)。
- 2) その他の製品
(1) スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ：歯科用コンポジットレジン、セメント、セラミックス、金属等の歯科材料の接着に用いられ、光エネルギーにより重合硬化するセルフエッチングアドヒーシブである。
(2) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ：リン酸のゲルであり、歯の表面を脱灰し、粗造にする。

【使用目的又は効果】

リライエックス™ アルティメット レジン セメント：歯科修復物・歯科修復材・歯科装置・口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ：象牙質を含む窩洞若しくは欠損又は人工歯冠等装置への接着、歯科用セラミックスで作製した歯科修復物又は装置の接着、金属修復物又は装置の接着に用いる。

スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジ：歯又は歯科修復物のエッチング(技工専用を除く)に用いる。

臨床上の必要性(利便性)：接着性レジンセメントのリライエックス™ アルティメット レジン セメントに、ともに使用して接着させるスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブと、より強い接着強度の付与のためのエッチングに用いるスコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジとを予め組合せたものである。

【使用方法等】

本材はオートミックス シリンジ入りのデュアルキュア型接着性レジンセメントである。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブや必要に応じてスコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジと組み合わせて使用する。

1. 適応症例

- 1) セラミックス製、コンポジット製、金属製などのインレー、アンレー、クラウン、ブリッジの接着
- 2) 接着ブリッジ(2 歯から 3 歯のメリーランドブリッジ、3 歯のインレー・アンレーブリッジ)の接着

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) ブラキシズム、歯周病の患者には使用しないこと。
- (2) 接着ブリッジの接着の際には、3.3)接着ブリッジの前処

理、4. 接着ブリッジの支台歯への処理の項を参照すること。

3) ポストやスクリューの接着

4) オールセラミックス製、コンポジット製ベニアの接着

2. 使用方法

1) 使用準備

(1) 歯髄に近接した症例には、印象採得前に歯髄保護のために水酸化カルシウム製剤等を使用する。

(2) 仮封材又は仮着材を除去する。

補綴物の適合を確認する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

a. ユージノールを含まない仮封材、仮着材を使用すること。接着力や硬化反応を阻害する恐れがある。

b. ガラスセラミックス製の補綴物は、補綴物の強度によっては接着前の適合確認時に破折が起こる場合があるので、注意すること。

c. シリコーン系材料を適合の確認に使用する場合、残渣が残らないように取り除くこと。

d. 歯面清掃時や接着時には汚染を避けるようにすること。

e. 過酸化水素水(オキシドール)や炭酸水素ナトリウム(重曹)は使用しないこと。接着力や硬化反応を阻害する恐れがある。

2) シェードの選択

適切なシェードを選択すること。リライエックス™ トライインペスト等を使用して色調を確認する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

リライエックス™ トライインペストの使用については、リライエックス™ トライインペストの添付文書を参照すること。

3. 補綴物等の準備

1) 補綴物の前処理

補綴物を通法に従い、異物の混入が無いように注意しながら前処理する。各補綴物による指定がない場合は、以下の方法を推奨する。

ー金属製補綴物ー

粒径 30～50 μm の酸化アルミニウムを用いて圧力 2bar(30psi)でサンドブラストを行う。アルコールで表面を清掃し、水・オイルを含まないエアーを用いて乾燥する。試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥する。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

(1) 接着ブリッジについては 3.3) 接着ブリッジの前処理の項を参照すること。

(2) リン酸処理しないこと。接着力に影響を与える恐れがある。

ーエッチング可能なガラスセラミックス製補綴物ー

補綴物へのエッチングを各補綴物の指定に従い行う。15 秒間水で洗浄し、水・オイルの入っていないエアーで乾燥する。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブの代わりに、シランカップリング材(例:リライエックス™ セラミック プライマー)を使用することもできる。シランカップリング材としてリライエックス™ セラミック プライマーを使用する場合は、リライエックス™ セラミック プライマーを塗布し、塗布後 5 秒後にエアーで溶媒を乾燥させる。

ージルコニア、アルミナ製補綴物ー

方法 1:

粒径 30～50 μm の酸化アルミニウムを用いて圧力 2bar(30psi)でサンドブラストを行う。アルコールで表面を清掃し、水・オイルを含まないエアーを用いて乾燥する。試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥する。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

方法 2:

コジェット™ サンドをマイクロブラスターを用いて補綴物表面に 2-10mm の距離から垂直に吹きつける。水・オイルを含まないエアーを用いて乾燥し残留物を取り除く。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

(1) 接着ブリッジについては 3.3) 接着ブリッジの前処理の項を参照すること。

(2) コジェット™ サンドの使用についてはコジェット™ サンドの添付文書を参照すること。

(3) リン酸処理しないこと。接着力に影響を与える恐れがある。

ーコンポジット製補綴物ー

粒径 30～50 μm の酸化アルミニウムを用いて圧力 2bar(30psi)でサンドブラストを行う。アルコールで表面を清掃し、水・オイルを含まないエアーを用いて乾燥する。試適後の補綴物は必ず清掃し(次亜塩素酸ナトリウム 5%水溶液による清掃を推奨)、水洗、乾燥する。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブの代わりに、シランカップリング材(例:リライエックス™ セラミック プライマー)を使用することもできる。シランカップリング材としてリライエックス™ セラミック プライマーを使用する場合は、リライエックス™ セラミック プライマーを塗布し、塗布後 5 秒後にエアーで溶媒を乾燥させる。

2) ファイバーポストの前処理

使用するファイバーポストの手順に従い前処理を行う。各ファイバーポストによる指定がない際には、アルコールでポストを清掃し、水・オイルを含まないエアーによる乾燥を推奨する。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアーで、波を打っていたアドヒーシブが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブの代わりに、シランカップリング材(例:リライエックス™ セラミック プライマー)を使用することもできる。シランカップリング材としてリライエックス™ セラミック プライマーを使用する場合は、リライエックス™ セラミック プライマーを塗布し、塗布後 5 秒後にエアーで溶媒を乾燥させる。

3) 接着ブリッジの前処理

ー金属、ジルコニア、アルミナ製補綴物ー

コジェット™ サンドをマイクロブラスターを用いて補綴物表面に 2-10mm の距離から垂直に吹きつける。水・オイルを含まないエアーを用いて乾燥し残留物を取り除く。スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処

理する。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーズが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーズの代わりに、シランカップリング材(例: リライエックス™ セラミック プライマー)を使用することもできる。シランカップリング材としてリライエックス™ セラミック プライマーを使用する場合は、リライエックス™ セラミック プライマーを塗布し、塗布後 5 秒後にエアードで溶媒を乾燥させる。ーエッチング可能なガラスセラミックス製補綴物ーエッチング可能なガラスセラミックス製補綴物の前処理の項を参照すること。

4) インプラントアバットメントの前処理

使用するインプラントアバットメントの材質(金属製、ジルコニア製等)の補綴物前処理の項を参照すること。

5) ベニアの前処理

使用するベニアの材質(エッチング可能なガラスセラミックス製等)の補綴物前処理の項を参照すること。

4. 窩洞/支台歯、根管、接着ブリッジの支台歯、ベニアの支台歯への処理

ー窩洞/支台歯ー

補綴物を接着させる前に、通法により仮封材又は仮着材を除去する。最大の接着力を得るために、エナメル質もしくはエナメル質と象牙質表面にリン酸エッチングすることもできる。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) 乾燥させすぎないこと。術後疼痛を誘発することがある。
- 2) 歯面を清掃後に、知覚過敏抑制剤、収斂剤、消毒剤、シーラント、スキヤニングパウダー、EDTA を含む溶液などを使用しないこと。接着力や硬化反応を阻害する恐れがある。
- 3) リン酸エッチングをする場合、スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジを用いて、エナメル質もしくはエナメル質と象牙質表面にリン酸ゲルを直接ゆつくりと押し出し、15 秒間放置する。オイルを含まない水で 15 秒間、十分に水洗する。水洗した水を吸引で取り除く。水・オイルを含まないエアード又は綿球で乾燥する。ラバーダムの使用をお勧めする。詳細は、ーベニアの支台歯ーの項を参照すること。

ー根管ー

根管治療を通法により行う。ガッタパーチャを充填した後、4mm 残して取り除く。接着前に、最終清掃として 2.5%–5.25% の次亜塩素酸ナトリウムで根管を清掃する。その後すぐに水で洗浄し、ペーパーポイント等で乾燥させる。ポストの接着を行う場合には、ラバーダムの使用をお勧めする。

ー接着ブリッジの支台歯ー

- 1) 支台歯が接着のために十分な面積のエナメルが残っていることを確認する。
- 2) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャントシリンジ先端のキャップをとり、エッチャント ディスペンシングチップ(以下ディスペンシング チップ)を時計方向に回して確実に取付ける。キャップは保管しておく。
- 3) 患者および他のスタッフから離れたところで、練板紙かガーゼの上にエッチング ゲルを試し出して、つまっていないか確認すること。つまっていたら、ディスペンシングチップをはずし、シリンジから直接少量のエッチングゲルを出すこと。その際、目に見えるつまりがあれば取り除く。
- 4) ディスペンシング チップを元のように再度取付け、試し出しをする。もし、まだつまったままの時はディスペンシング チップを捨てて新しいディスペンシング チップと取り替えること。
- 5) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジを用いて、エナメル質表面にリン酸ゲルを直接ゆつくりと押し出し、15 秒間放置する。オイルを含まない水で 15 秒間、十分に水洗する。水洗した水を吸引で取り除く。水・オイルを含まないエアード又は綿球で乾燥する。ラバーダムの使用をお勧めする。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) 支台歯は健全であり、歯周の状態が良いこと。
- (2) ウイング、隣接面のグルーブにより保持力を付与すること。
- (3) 象牙質が露出している際にはエナメル質だけに選択的にエッチングすること。術後疼痛を誘発する恐れがある。
- (4) エッチング処理は必ず行うこと。接着力に影響する。
- (5) 乾燥させすぎないこと。術後疼痛を誘発することがある。
- (6) エッチング後に歯面が唾液等で汚染された場合は、5 秒間再度エッチングをやり直し、水洗、防湿を行うこと。
- (7) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジの使用後は、ディスペンシング チップを取り除き廃棄して、キャップを取り付けること。ディスペンシングチップを取り付けたまま、もしくは、キャップを取り付けないまま保管すると、エッチャントが乾燥し、詰まりが発生する。次回使用するときは、キャップを取り外し、新しいディスペンシング チップを使用する。

ーベニアの支台歯ー

- 1) 通法により歯面を清掃する。
- 2) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャントシリンジ先端のキャップをとり、ディスペンシング チップを時計方向に回して確実に取付ける。キャップは保管しておく。
- 3) 患者および他のスタッフから離れたところで、練板紙かガーゼの上にエッチング ゲルを試し出して、つまっていないか確認する。つまっていたら、ディスペンシング チップをはずし、シリンジから直接少量のエッチングゲルを出すこと。その際、目に見えるつまりがあれば取り除く。
- 4) ディスペンシング チップを元のように再度取付け、試し出しをする。もし、まだつまったままの時はディスペンシング チップを捨てて新しいディスペンシング チップと取り替えること。
- 5) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジを用いて、エナメル質もしくはエナメル質と象牙質表面にリン酸ゲルを直接ゆつくりと押し出し、15 秒間放置する。オイルを含まない水で 15 秒間、十分に水洗する。水洗した水を吸引で取り除く。水・オイルを含まないエアード又は綿球で乾燥する。ラバーダムの使用をお勧めする。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) エッチング処理は必ず行うこと。接着力に影響する。
 - (2) 乾燥させすぎないこと。術後疼痛を誘発することがある。
 - (3) エッチング後に歯面が唾液等で汚染された場合は、5 秒間再度エッチングをやり直し、水洗、防湿を行うこと。
 - (4) スコッチボンド™ ユニバーサル エッチャント シリンジの使用後は、ディスペンシング チップを取り除き廃棄して、キャップを取り付けること。ディスペンシングチップを取り付けたまま、もしくは、キャップを取り付けないまま保管すると、エッチャントが乾燥し、詰まりが発生する。次回使用するときは、キャップを取り外し、新しいディスペンシング チップを使用する。
5. アドヒーズの準備
- スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーズのキャップの側面のくぼみに親指を置いて、キャップを開く。ディスポーザブル混和皿に本材を適量採取する。使用後は直ちにキャップをカチッと音がするまでしめ、光から保護するようにする。
- #### 《使用方法等に関連する使用上の注意》
- 1) 使用後は、速やかにキャップをしっかりしめること。
 - 2) ボトルを清潔に保つこと。
6. 歯面へのアドヒーズ塗布・乾燥
- 歯面にスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーズをディスポーザブル アプリケーターブラシにて塗布し、20 秒間処理する。その後、塗布面をゆるやかなエアード、波を打っていたアドヒーズが動かなくなるまで約 5 秒間乾燥する。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブを 10 秒間照射し重合させることもできる。
- 2) CAD/CAM レジンブロックの場合、最大の接着力を得るためには、スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブを 10 秒間照射し重合させる。
- 3) 光照射器は、400–500nm の波長をもつ光照射器を使用すること。

7. 練和

リライエックス™ アルティメット レジン セメントを最初に使用する場合、ホイルパックを開封しオートミックスシリンジを取り出し、有効期限を確認する。ホイルパックは捨てること。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

ホイルパック開封後 6 ヶ月以内に使用するため、ホイルパックを開封した日をオートミックス シリンジのラベルに記載しておくこと。

- 1) キャップをオートミックス シリンジから取り除き破棄する。
- 2) オートミックス シリンジから試し出しを行い、詰まりが無いことを確認する。ペーストの硬化物などが付着している際には取り除く。
- 3) 練板紙上で 2 種類のペーストが等量出ようになるまで試し出しを行う。このペーストは捨てること。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

キャップはオートミックス シリンジの封鎖に再利用しないこと。気泡混入の恐れがある。

8. 操作時間・硬化時間

操作時間や硬化時間は、環境や口腔内の温度に依存する。個々に記載した時間は、一般的な歯科医院での使用状況を想定して記載している。室温の場合、硬化時間はより長くなる。本材はデュアルキュア型のセメントであり、それゆえ日光や歯科ユニットの无影灯などの光に敏感になっている。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) 操作時間・硬化時間は、光に当たると短くなる。注意すること。
- 2) 光重合の照射器は、400–500nm を使用すること。
本材(リライエックス™ アルティメット レジン セメント)
練和開始からの操作時間 2 分 30 秒

光重合：

咬合面からの一方向光照射	20 秒
多方面からの光照射	20 秒
ファイバーポストの接着の場合、咬合面からの一方向光照射	40 秒

化学重合：

硬化時間（練和開始から）	6 分
--------------	-----

スコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブ

(オプションとして)支台歯に塗布したアドヒーシブの光照射時間 10 秒

《使用方法等に関連する使用上の注意》

本材を使用する前に、支台歯に塗布したスコッチボンド™ ユニバーサル アドヒーシブを 10 秒光照射することもできる。

9. 填入

- 1) 2 回目以降使用する際には、前回使用してオートミックスシリンジについているミキシングチップ セメント用又はリライエックス™ アルティメット レジン セメント ミキシングチップ セメント用ワイド(以後、ミキシングチップ セメント用ワイドと記載)を取り除き破棄する。
- 2) 新しいミキシングチップ セメント用又はミキシングチップ セメント用ワイドを用途に応じて選択し、オートミックス シリンジに右回しに固定する。
- 3) ミキシングチップ セメント用ワイドは口腔内注入チップ セメント用、エンド用チップ セメント用を先端に取り付け

て使用する。

- 4) ペーストが等量比で練和されるまで、少量の試し出しを行う。
- 5) ペーストをオートミックス シリンジから窩洞や窩壁に填入する。インレー、アンレー、クラウンなどの補綴物に直接填入することもできる。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) ベニアの接着については、リライエックス™ アルティメット レジン セメント操作上の余裕時間が比較的短い(2 分 30 秒)ので、同時に接着するベニアは最大 2 枚とすること。
- (2) 作業中には水分、血液、唾液などの汚染を防ぐようにすること。
- (3) オートミックス シリンジへの圧力が無くなるとペーストの流れは止まり硬化が開始する。ペーストが硬化した後にはオートミックス シリンジに力を加えないこと。ミキシングチップならびにオートミックス シリンジに損傷を与えることがある。
- (4) セメント内に気泡が混入しないように、ミキシングチップ セメント用、口腔内注入チップ セメント用、エンド用チップ セメント用の先端をセメント内に維持したままセメントを填入する。
- (5) 使用したミキシングチップは次回使用時までキャップとしてそのままにしておく。

10. 根管への填入

- 1) オートミックス シリンジにミキシングチップ セメント用ワイド、エンド用チップ セメント用を取りつける。根管内の深い位置にエンド用チップ セメント用の先端を挿入し、ペーストを填入する。
- 2) ポストを、ペーストを填入した根管へ挿入し、位置を維持するため軽く圧力をかける。気泡が混入するのを防ぐために、装着時にポストを振動させながら装着することをお勧めする。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- (1) 根管にペーストを填入する際に、螺旋状根管充填器(レンツロ®充填器など)を使用しないこと。硬化が促進される恐れがある。
- (2) セメント内に気泡が混入しないように、エンド用チップ セメント用の先端をセメント内に維持したままセメントを填入する。

11. 余剰セメントの除去

方法 1：

補綴物をセット後、余剰セメントをセメントが硬化する前に綿球などで除去する。セメント表面の未重合の影響を防ぐためにグリセリンジェルで覆う。残っている最小限の余剰セメントを軽く光照射させる、又は化学重合で最終硬化を待つ。

方法 2：

補綴物をセット後、余剰セメントを軽く光照射させたあと(一般的な光照射器で約 1-2 秒照射)もしくは化学重合中(練和開始から約 3 分後にゲル状(ワックス状)になったとき)に探針などの器具で除去する。余剰セメントは量が多いほうが除去しやすい。

《使用方法等に関連する使用上の注意》

- 1) 余剰セメントを光照射する時は照射しすぎないこと。高出力光照射器使用時は、歯面からやや離して各面 1 秒の照射を推奨する。
- 2) 化学重合中に除去する場合、補綴物の位置がずれないようにすること。

12. 硬化と形成

- 1) セラミックス製やコンポジット製の補綴物の場合、光照射でセメントを硬化させることをお勧めする。各面の照射時間を選ぶ(8. 硬化時間の項を参照)。透明なポストを使用した場合、ポストを通してセメントが硬化される。照射時間は使用しているポストの透明性に依存する。
- 2) 補綴物周辺の余剰セメントを除去する。ダイヤモンドバー、酸化アルミニウムのディスク(ソフレックス™ など)やダイ

ヤモンド研磨ペーストで研磨する。

- 3) 咬合を確認する。

13. 形成後

治療した歯やその周囲を確認する。余剰セメントが残っている場合には、除去する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本材並びにスコッチボンドTM ユニバーサル アドヒーシブに含まれる成分により、皮膚アレルギー反応が生じることがある。口腔内軟組織に液が長時間触れた場合は、大量の流水で洗い流すこと。アレルギー反応が生じた場合、必要に応じて専門医の診察を受けさせ、本材を除去し、その後の本材の使用を中止すること。
術者においては、アレルギー反応のリスクを減少させるために、保護手袋を使用し接触を最小限にすること。特に、未重合の液への接触を避けること。万一液が皮膚に付着した場合にはせっけんと流水で洗い流すこと。一般的に使用されている手袋はアクリレート類を浸透するため、液が手袋に付着した場合は手袋を捨て、すぐにせっけんと流水で手を洗い、その後新しい手袋をすること。万一アレルギー反応が生じた場合は、必要に応じて専門医の診察を受けること。
- 2) 患者、術者の眼を守るため保護めがねなどを着用すること。万一、眼に入った場合には、すぐに大量の流水で十分に洗浄して専門医(眼科医)の診察を受けること。
- 3) スコッチボンドTM ユニバーサル アドヒーシブは可燃性物質であるエタノールを含むため、火気の近くで使用しないこと。
- 4) スコッチボンドTM ユニバーサル エッチャント シリンジにはリン酸が含まれている。リン酸は強酸性のため皮膚、粘膜に付着した場合、放置すると化学やけどを起こす可能性がある。万一エッチングゲルが皮膚、粘膜に付着した場合には、すぐに大量の流水で十分に洗い流すこと。また、眼に入った場合には、すぐに大量の流水で十分に洗浄して専門医(眼科医)の診察を受けること。
- 5) 適切な衣類、手袋、保護めがねを着用すること。

2. その他の注意

- 1) エッチング後の水洗により本材が飛び散ることがある。患者の顔面などへ飛散しないよう注意すること。
- 2) 他の人が不用意に本材に触れる事故を防ぐため、使用後に残った本材は水で洗い流すこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 貯蔵・保管方法

本材(リライエックスTM アルティメット レジン セメント)

- 1) 15-25℃で保管すること。
- 2) ホイルパック開封後は、使用期限内の開封後 6 ヶ月以内に使用すること。湿度によって硬化が加速される恐れがある。
- 3) 本材を高湿又は直射日光にさらさないこと。
- 4) 本材をユージノール系製品と同じ場所に保管しないこと。

スコッチボンドTM ユニバーサル アドヒーシブ

- 1) 2-25℃で保管すること。
 - 2) 火気の近くに保管しないこと。
- スコッチボンドTM ユニバーサル アドヒーシブ ボトルタイプ：火気厳禁 第四類第二石油類(水溶性)、危険等級Ⅲ、5mL

スコッチボンドTM ユニバーサル エッチャント シリンジ

2-25℃で保管すること

2. 有効期間

包装に記載〔自己認証(製造元データによる)〕

外国製造所の国名及び製造業者の名称

** ドイツ、スリーエム ヘルスケア ジャーマニー ゲーエムベー
ハー (3M Healthcare Germany GmbH)

3M、リライエックス、スコッチボンド、コジェット、ソフレックスは、3M 社の商標です。

レンツロ[®]は、Maillefer 社の登録商標です。

** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

* 名称：スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

** TEL：0120-332-329 (カスタマーコールセンター)